

## 感想・気付き

まずは何より、素晴らしい研修を戴き誠にありがとうございました。久々に、心底、素晴らしく思え、自らのものにすべく懸命に学ぶ研修に出会いました。重ねて御礼申し上げます。

宿題を出すにあたって、段取りミスなどもあり、3回も書き直す羽目になりました。仕事が超多忙だったため、「困った。失敗した」と思っていました。しかし、書き直すたびに、コピペではなく、もう一度、本当はどうかと、願い、ビジョンに立ち返り、新たに全て書きました。時間はかかり、夜中の5時までかかる日もありました。しかし、そのたびに、本当に果たしたい願いが深まり、よりやる気になる目標に変化していきました。何より、ブラッシュアップし続けることが重要と実感しました。1回、2回で本当に力が出るもの、目標が出ているとは限らない。これからも、常にブラッシュアップし続けることをして行きたいと思えます。

そんな中で、理念だけは、初めに「バン」と出したものは、何度見直しても全く変わりませんでした。常々自分自身問いかけて、文書化していたもので、ブラッシュアップもかけていたものだったので、やはり、自分自身が内面に深く入り込み、問いかけ続けたものは強いのだと思いました。

今回の研修は本当に多くのことを学びました。まず、何より4観点は非常に重要と思いました。宿題に関してもこの4観点を改善し続け、修正し続けました。その結果、「目標」がより、本気で果たしたいものに深まっていきました。私にとっては、まず4観点が最初の大きな光と感じます。それを突き詰めることで、本当に果たしたい願いに繋がる。それはブラッシュアップ、アップデートし続けるべきものであり、完成したと思わない。これが私にとっての一つのイメージになりました。

オープンウィンドウ64を眺める重要性を知りました。これは現時点で完全にできていません。しかし、64にすべきことの全体像があり、それを眺めることで、すべきことを漏らさない。非常に重要なツールと思います。今後とも64を眺めそして、こちらもブラッシュアップし続ける。これを一日の日課にすることが重要と感じました。

64とも関連しますが、何より振り返りが重要。振り返りをサポートするツールは、ルーティンチェック表と思います。直近の3週間の取組ではこれが一番役に立ったと感じます。今まで振り返りをせず、やったらやりっぱなしが多かつ

た私に、転換の時を与えてくれたと思います。ルーティンチェック表は実行の命ともいえると思います。

日誌が全体を支え、現実で成果を上げるためのキラーツールと知りました。日誌は最初はスケジュール整理表と思っていました。それは違っていました。これはスケ帳ではない。現実を作っていく、そのために、自分自身を作っていく修行ツールと今、私は認識しています。これを極めたいと思います。時間はかかりますが、私は日誌をこのままの形でやり続けてみたいと思います。

最後にストローク実践ですが、これは重要だと思います。しかし、今回の研修期間中、これはしっかりできませんでした。この実践は、今日からの課題として、今後自分のものにして行きたいと願っています。

本当に濃い 4 回の研修でした。ありがとうございました。これからも頑張ります。極めて行きたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2019 年 4 月 26 日

笠原秀紀